

平成27年度外部事業評価に基づく対応方針

整理番号	事業名
補助金4	恵山つつじまつり開催補助金

所管部局
恵山支所産業建設課

所管部局の評価		外部評価結果		外部評価結果を受けての市の対応方針
評価項目	評価内容	評価の妥当性	意見・提言	
必要性	事業の市民ニーズ	妥当	〔旧恵山地区の地域振興というニーズは理解できるが、地区外からの集客を求めるのであれば、函館市全体の市民ニーズについても検証が必要ではないか。実行委員が地区の方だけで構成されているので、もっと外からの視点を入れた方が良いと思う。〕	
	市の関与の妥当性	妥当		
成果・有効性	成果の達成状況	妥当でない	○来場者が半減しており、イベントの満足度などを検証していない状況では、成果を達成しているとはいえない。 ○もっと創意工夫をして観光の目玉にしてほしい。 ○広域観光という視点で、函館市の観光部と連携していくべき。 ○来場者アンケートによる成果の定量化をはかるべき。 ○アンケート結果を事業改善に活かすべき。 ○PRの強化、観光振興策(周遊型)に取り組むべき。	○アンケート調査を実施し、来場者のニーズ等の把握に努め、イベントの充実を図る。 ○市観光部や観光関連業者と連携し、広域観光の展開を図る。 ○まつりのPR等について、交流人口の増加に向けて取り組む。
	事業目的実現のための手段	妥当		
コスト・負担	コストの節減度	妥当でない	○コスト節減ばかりでなく、投資として考える必要がある。 ○入札等で事業者を選考してはどうか。 ○補助金減額分が協賛金と事業収入に移っただけで事業費そのものが減額したわけではないため、節減度の成果は不明である。 ○コスト節減のあまりイベント規模を縮小するのでは本末転倒であるが、補助金頼みのイベントからの脱却を目指して補助割合は1/2に近づける努力をすべき。 ○まつりを発展させるため、イベント内容や交通アクセス等の見直しをはかるべき。	○来場者増に向け、まつりの内容を見直すとともに、新たな企画を重点的に進める。 ○より良いイベントの実施に向け、事業の構成等についても見直しを検討する。 ○新たに旧市内部への企業訪問を行うなど、協賛金の獲得に努め、補助割合の圧縮を図る。 ○移動手段を持たない市民や観光客のため、函館駅間のシャトルバスの運行を検討するなど、まつりへの理解や周知を図っていく。
	将来コスト増減見込み	妥当		
	受益者負担の適正度	妥当		
執行方法	外部委託の可能性			
	実施方法の効率性			

所管部局の評価		外部評価結果		外部評価結果を受けての市の対応方針	
基本方針	改善	基本方針	改善	基本方針	改善
		○イベントの満足度の検証、来場者が望むイベントをアンケート等で確認し、その内容の見直しを早急にすべき。 ○広域観光という視点で、さらなる観光の目玉にする工夫をしてほしい。 ○もっと集客できるポテンシャルがある事業だと思う。 ○函館市として集客するためにもぜひ地域外の視点を導入すべき。 ○まつりの内容を見直し、大きなまつりにすべき。		【基本方針の説明(改善等の具体的内容)および意見・提言等に対するコメント】 ○アンケート調査を実施し、来場者のニーズ等の把握に努め、イベントの充実を図る。 ○市観光部や観光関連業者と連携し、広域観光の展開を図る。 ○より良いイベントの実施に向け、内容、構成等の見直しを検討する。	